

「部活動・同好会に係る活動方針」

徳島県立徳島科学技術高等学校

1 活動の基本方針

- (1) 部活動・同好会を活性化させ、自主的・実践的な活動ができるようにし、人間関係をよりよく形成するとともに、各自が目標を設定してチャレンジし、自己実現を図ろうとする態度を養う。
- (2) 生徒と教師の温かい人間関係を確立し、楽しく活力ある学校づくりに寄与する。
- (3) 生涯にわたり、豊かなスポーツライフや芸術文化等の活動を実現する資質・能力・態度を育成する。

2 指導・運営に係る体制について

- (1) 指導内容の充実、生徒の安全の確保、教師の長時間勤務の解消等の観点から円滑に学校部活動を実施できるよう、適正な数の学校部活動を設置する。
- (2) 校内組織「部活動・同好会適正化推進委員会」を設置し、コンプライアンス意識及び全体的な活動の質の更なる向上を図る。
- (3) 部・同好会顧問は、年間・月間の活動計画及び活動実績を作成し、校長に提出する。

3 活動推進のための取組について

- (1) 運動系の部・同好会顧問は、スポーツ医・科学の見地からは、トレーニング効果を得るために休養等を適切に取ることが必要であること、また、過度の練習がスポーツ障害・外傷のリスクを高め、必ずしも体力・運動能力の向上につながらないこと等を正しく理解し、分野の特性等を踏まえた効率的・効果的なトレーニングの積極的な導入等により、休養等を適切に取りつつ、短時間で効果が得られる指導を行う。
- (2) 文化系の部・同好会顧問は、生徒のバランスのとれた健全な成長の確保の観点から休養等を適切に取ることが必要であること、また、過度の練習が生徒の心身に負担を与え、文化系活動以外の様々な活動に参加する機会を奪うこと等を正しく理解し、分野の特性等を踏まえた効率的・効果的な練習・活動の積極的な導入等により、休養等を適切に取りつつ、短時間で効果が得られる指導を行う。

4 適切な休養日等の設定について

- (1) 学期中は、原則として週当たり1日以上休養日を設ける。1日の活動時間は、原則として平日は2時間程度、学校の休業日(学期中の週末を含む)は3時間程度(練習試合等は除く)とし、できるだけ短時間に、合理的でかつ効果的な活動を行う。
- (2) 週末等の練習試合やオープン戦に関しては、できるだけ多くの生徒に出場機会を作れるように配慮し、一人の活動時間が3時間を超えないように努める。

5 生徒のニーズを踏まえたスポーツ・文化芸術環境の整備について

- (1) 活動は生徒の自主的・自発的な参加により行われるものであることを踏まえ、生徒の意思に反して強制的に加入させることがないようにするとともに、その活動日数や活動時間を見直し、生徒が希望すれば、特定の種目・部門だけでなく、スポーツ・文化芸術や科学分野の活動や地域での活動も含めて、様々な活動を同時に経験できるよう配慮する。

6 地域・保護者との連携

- (1) スポーツ・文化芸術団体との連携や民間事業者の活用等により、保護者の理解と協力を得て、学校と地域が協働・融合した形での地域におけるスポーツ・文化芸術の環境整備を進める。
- (2) 中学校、大学及び特別支援学校等との合同練習を実施するなど、学校種を越えての連携を深め、生徒同士の切磋琢磨や多様な交流の機会を設ける。